

作品 No.007



生きものの“つぶやき”:

「迷子になっちゃった」

エッセイ:

くねくね くねくね…

犬の散歩中にふと田んぼを見てみると「なんだこの模様は!？」と驚きました。よく見てみ

るとそれはタニシが動いた砂の跡でした。私はその様子を見て、迷子になった子のように思いました。また、1人だけではなく皆が彷徨っているように見えました。このタニシを調べたところ在来種なので田んぼにいても良いですが、外来種であるジャンボタニシだったら稲を食べてしまうので危険だと思いました。外来種が増える＝生態系が壊れる だと私は思います。今回を機に外来種を捨てさせないなどして、タニシだけでなく他の生き物の在来種も大切にしていきたいと思いました。(270字)

生きものの紹介：

タニシ：原始紐舌目 タニシ科

南米と南極大陸を除く各大陸とその周辺地域の淡水に生息している。茹でたり煮込んだりして山梨県、岐阜県、長野県では食べられている。

撮影場所・日時：

三重県桑名市内の田んぼ・2021年8月10日

応募者の自己紹介：

1. 山本真央／四日市高等学校2年
2. 所属：水泳部 生物部
3. 将来の夢：理学療法士

審査委員会からのコメント

見落としてしまいそうな身近な生物への「気づき」が感じられていいです。生態系に関して考察をしているエッセイにも感心させられます。なぜクネクネ曲がるのでしょうか？